

平成29年度 自己評価表

愛媛県立西条高等学校 全日制
学校番号 9

教育方針	人格の完成を目指し、国家及び社会の有為な形成者として、文化の創造と発展に寄与する人間を育成する。	重点目標	学校に誇りを持ち、地域を愛し、世界に飛躍する人材の育成 ～刷新の気、みなぎる学び舎を目指して～
------	--	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
徳育指導	1 豊かな心情の育成と品性の錬磨 (1) 読書活動を推進します。 (2) 道徳教育や人権教育の推進に努めます。 (3) 規範意識を育成します。 (4) 安全教育の充実に努めます。	読書冊数 一人年間5冊以上	A	一人年間5冊以上読破達成率は2月末現在で75.8%。一人年間読書冊数平均は10.5冊。	朝の読書や読書会などを通して読書に対する意識の向上に努めていきたい。
		いじめや人権侵害の未然防止・早期発見への取組 学期に1回以上	A	学期に1回のアンケートや面接週間における問いかけ等で、生徒の状況を把握できており、いじめの未然防止につながっている。	アンケートや面接による把握に加え、あらゆる機会をとらえて人権尊重の大切さを生徒に伝えていく。
		明るく品のある挨拶のできる生徒 100%	A	朝の挨拶、帰りの挨拶、廊下ですれ違う時の挨拶100%実行できている。	生徒会による挨拶運動をより深めていく。
		防災教育、健康・安全教育の実施 年10回以上	A	17回実施（防災訓練2回、搬送講習会1回、熱中症対策2回、交通安全指導10回、非行防止教室2回）	内容を更に充実させ、継続して取り組んでいく。生徒の防災士資格取得を支援していく。
		家庭学習時間 昨年度の自分より1時間増	C	11月1年120分、2年134分、3年228分 昨年比（2年）普国8分増、商19分増 （3年）普14分減、理数172分増、商1分減	生徒一人ひとりの家庭学習時間の把握に努め、前年の時間を提示するなどして、家庭での学習を意識させる。
知育指導	2 学力の充実と学ぶ意欲の育成 (1) 基礎的な知識や技能の定着に努めます。 (2) 問題解決力・応用力を身に付けさせます。 (3) 授業改善や学習指導力の向上に努めます。 (4) 資格取得を奨励します。 (5) 進路指導体制の充実に図ります。 (6) キャリア教育の充実に努めます。	授業に満足している生徒 90%以上	C	授業を大切にしている生徒90% 授業は分かりやすく楽しい74% 授業を工夫している先生が多い82%	アクティブラーニングを取り入れた授業実践をはかり、主体的、積極的に考えさせるための問いかけの工夫や、質問しやすい雰囲気づくりをする。
		授業改善に向けた研修会 年間8回以上	A	外部講師招聘AL研修会1回、AL先進校視察3回、AL講習会参加1回、公開授業・授業研究会9教科実施、校内AL研修会・報告会4回	アクティブラーニング(AL)も含め、校内研修会を通して授業改善と授業力向上を図る。
		英検2級取得 商業検定1級3種目合格 40名以上 90%以上	B	英検2級取得80名（1年1名、2年41名、3年38名）、商業検定1級3種目取得87.5%（32名中28名）	英検は準1級の挑戦者が出るよう、1・2年での2級取得を積極的に呼びかける。商業も、目標は下げず、高みを目指す。
		国立大学合格 100名以上 難関10大学・医学部医学科合格 10名以上	B	国立大学合格延べ数は現在90であり、ほぼ目標達成できている。難関大学10大学では名古屋2、九州1、神戸1の合計4であり、目標には届かなかった。	最難関大学志望者の個別指導体制を早い段階で確立させる。推薦・AO対策を充実させる。
		就職内定率 100%	A	就職希望者23名、内定率100%	引き続き職場開拓を進めるとともに、生徒の適性や希望に、より合致した職種・職場の紹介に努める。公務員希望者の試験対策にも力を入れる。
		英検2級取得 商業検定1級3種目合格 40名以上 90%以上	B	英検2級取得80名（1年1名、2年41名、3年38名）、商業検定1級3種目取得87.5%（32名中28名）	英検は準1級の挑戦者が出るよう、1・2年での2級取得を積極的に呼びかける。商業も、目標は下げず、高みを目指す。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
体育指導	3 気力と体力の鍛錬 (1) 部活動を奨励し、心身の鍛錬を図ります。 (2) 学校行事の充実に図ります。 (3) 基本的な生活習慣を確立させます。	部加入率 85%以上	A	部加入率89.5%	今年度90%を割り込んだので、次年度には90%に到達するように、文武両道をめざす高校生活の意義や魅力喚起に各クラスで取り組む。
		県総体200名以上、県高文祭70名以上 出場	A	県総体214名出場。高文祭102名出場。	引き続き部活動の指導に力を入れ、共働的な体験を通して生徒個々の人間性を高め、学校全体の文武両道の表現を図る。
		学校行事に満足している生徒 90%以上	C	学校や地域の特色を生かした学校行事(文化祭・運動会等)は充実している。生徒79% 生徒は文化祭や運動会などの学校行事に積極的に参加している。保護者90%	学校行事に対して、生徒は意欲的に取り組んでいるものの充実感を得ていない。生徒会活動に関する生徒評価も低い(65%)ことから、生徒の自主性を喚起し、やりがいを感じる取組を促す工夫が必要である。
		1か年皆勤率 50%以上	A	全校51.9% 3年61.0%、2年44.9%、1年50.9%	自己管理能力を身に付けることや、安易に休まない強い気持ちを持つことなどの指導を引き続き行う。
地域と連携した教育活動	4 地域と連携した国際・理数・産業教育の推進 (1) 豊かな国際感覚を育みます。 (2) 地域との連携を図ります。 (3) 思考力・表現力・判断力の育成に努めます。 (4) 創作活動や各種コンテスト等への参加を奨励します。	各種の国際化を図る取組 年間10回以上	A	11回(長期・短期留学生受け入れ、台湾彰化芸術高級中学生・中国文化大学日本語科学生との交流、西条市国際交流協会主催国際交流イベントボランティア、地域在住外国人の方による異文化理解講座、オンライン英会話など)	西条市国際交流協会など地域機関との連携、地域人材の活用を引き続き積極的に行い、グローバルな視野を持ち、多文化を受け入れることのできる生徒の育成に努める。
		地域ネットワークを活用した学習活動 年間40回以上	A	理数科35回(西条市役所、市民活動支援センター、ブルノアセット、漁協組合等と連携)	現在、愛媛大学農学部と共同研究を進めている「油系女子」の活動を支援する校内組織を確立する。
		体験発表、課題研究発表 年間10回以上	A	理数科15回(スタディツアー報告会、中学校出前授業等)	過去6回のイギリス・スタディツアーの実績を踏まえ、持続可能なツアーの確立を目指す。
		地域と連携したイベントの企画・参加、各種コンテストへの応募、子ども対象の科学教育啓発活動の企画・実施 年間30回以上	A	理数科32回(各種論文コンテスト応募、科学の祭典、サイエンス発表会への参加等)	地域の課題に即したテーマを設定し、チームで様々な企画を行うことも頭頭に活動する。

※ 評価は5段階（A：十分成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。